

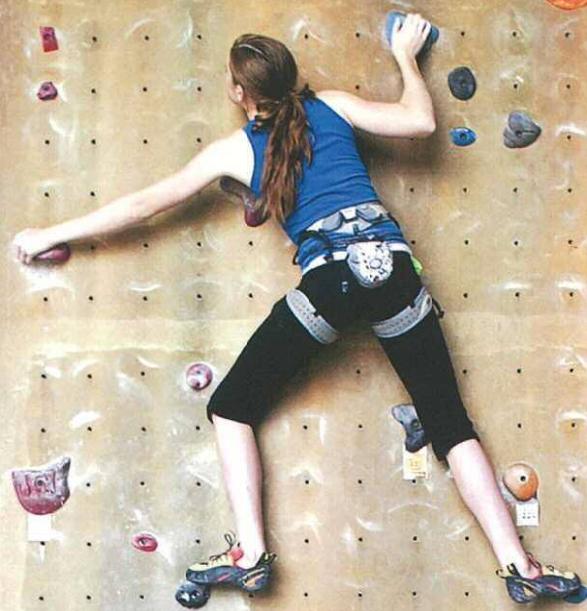
# 月刊レジャー産業資料

Leisure Industry Data

2018 MAY  
No.620

1968年4月5日第3種郵便物認可  
第51巻第5号(通巻620号)  
2018年5月1日発行(毎月1日発行)

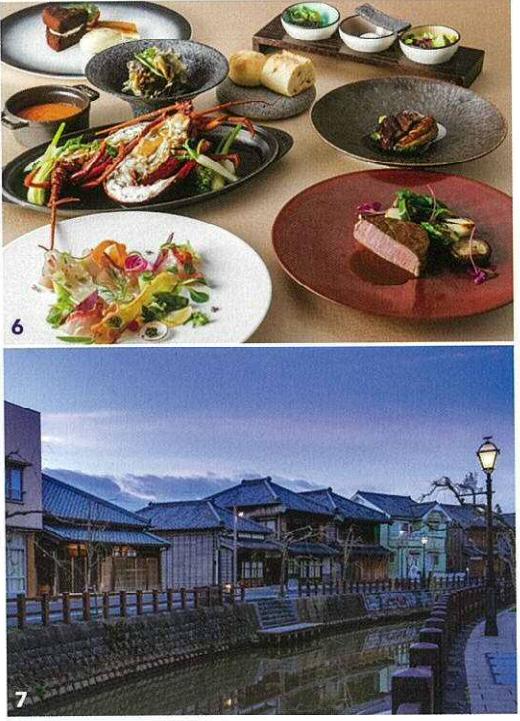
5



特集

本格派からエンタメ・レジャー志向まで  
**裾野広がる  
スポーツクライミング**

綜合ユニコム



6. 月ごとに旬を迎える地元の新鮮な素材を活かしたフレンチを提供  
7. 江戸に優るとも劣らない「江戸優り」と呼ばれた街並みが残る佐原地区

#### 客室構成

客室名	客室タイプ	客室面積	定員	宿泊料金*
YATA 101		92m <sup>2</sup>	4人	3万5,424円~
YATA 102	ツイン	77m <sup>2</sup>	4人	3万1,104円~
YATA 103		54m <sup>2</sup>	4人	2万6,784円~
AOI 201		96m <sup>2</sup>	6人	3万9,744円~

\*1泊2食付き2人利用時

#### 施設概要

所在地	千葉県香取市佐原イ1720ほか
オープン	2018年3月30日
運営	バリューマネジメント株
GEISHO AOI YATA	
構造・規模	木造・地上2階建て(YATAは一部平屋建て)
延床面積	129.87m <sup>2</sup> 96.44m <sup>2</sup> 222.06m <sup>2</sup>



4



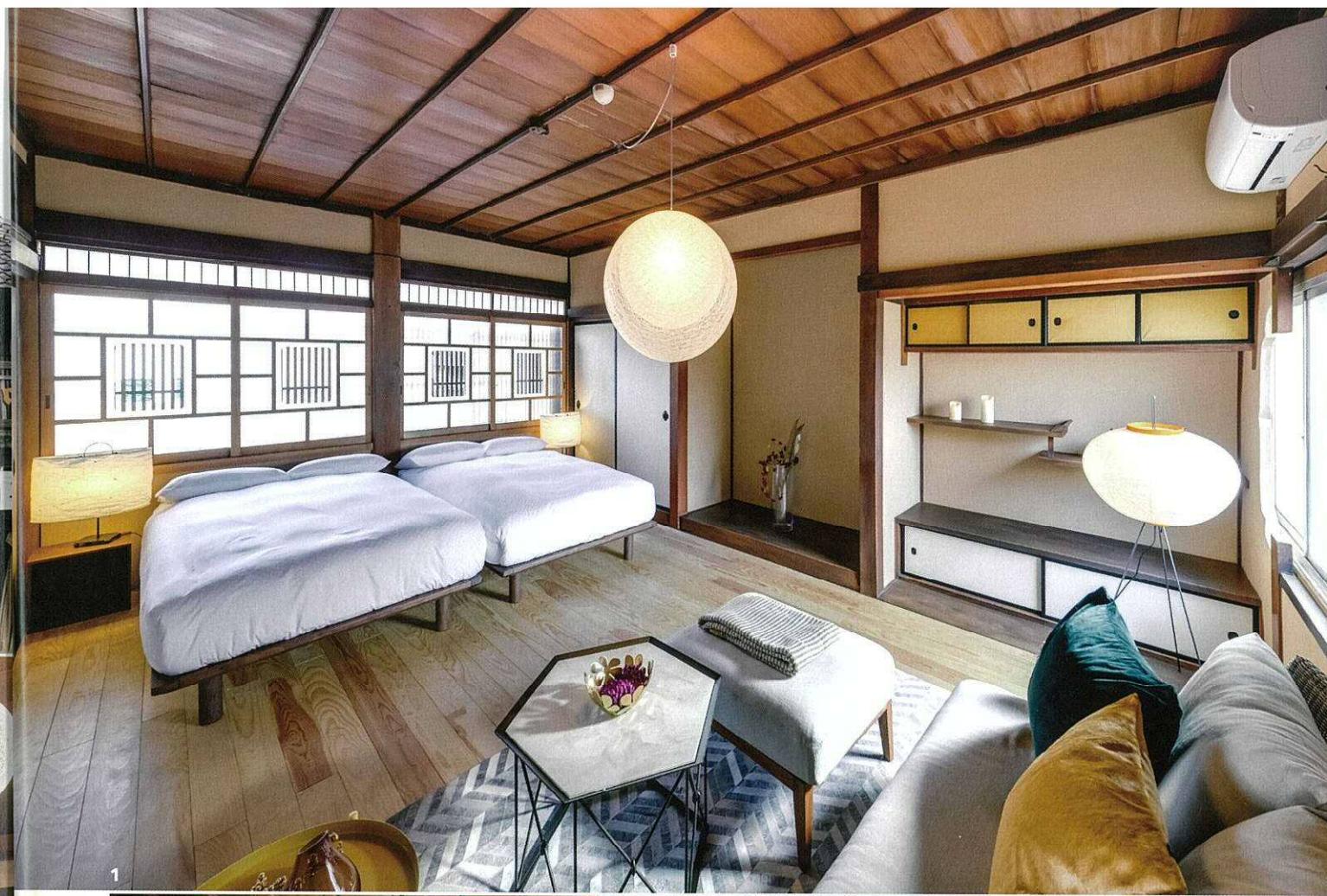
5

4. レストランは職人の技巧を感じられる特別な空間  
5. フロント・レストラン棟「GEISHO」は、地区の中心部に建つ1855年築の建物。県の指定文化財にも指定される中村屋商店

同ホテルは、2016年2月に締結された「千葉県香取市の歴史的資源を活用した地域活性化に向けた連携協定」の一環で、同社は街並みの保存継承と観光振興を目的に、株京葉銀行、佐原信用金庫、(株)地域経済活性化支援機構などで構成される「千葉・江戸優り佐原観光活性化ファンド」を中心に資金調達し、開業に至った。客室は現在4室だが、同地区の古民家活用を順次進め、18年中に9室、19年春には13室をオープンする予定である。

元食材を使用した本格フレンチを提供するレストラン（約40席）となっている。また、客室は明治後期築の商家で、母屋・土蔵・倉庫の3室からなる客室棟「YATA」と、昭和初期築の料亭をリノベーションした1棟貸し客室「AOI」の計4室。いずれもゲストに特別な滞在を提供する。

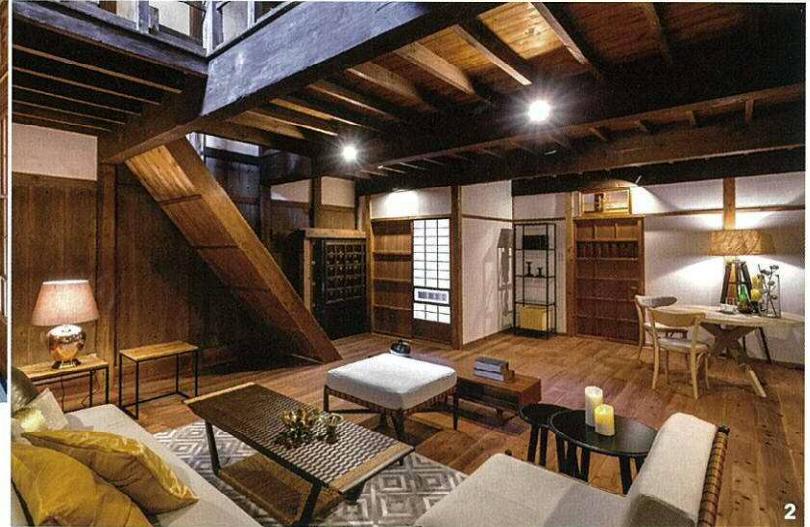
同地区は、成田国際空港から1時間弱とアクセスもしやすい立地であります。観光客への認知度は十分ではない。今回の開業をきっかけに、歴史的街並みなどに関心が高い国内のアクティビティニアや、成田国際空港を利用するインバウンドの利用を見込んでおり、そうした客層を中心には知名度を高め、さらに幅広い層の集客を見込んでいくという。



1



1.2.3. それぞれの建物の造形や装飾を活かした客室としてリノベーション



2

同ホテルは、JR佐原駅から徒歩で約10分の地区内に点在する古民家で構成されており、フロント・レストラン棟となる「GEISHO」は、1階にフロント機能を有し、2階は、季節の地

千葉県香取市佐原地区に「佐原商家町ホテルNIPPONIA」をオープンした。同地区は江戸時代から利根川水運の中継基地として栄えたエリア。分流の小野川沿いには築100年を超える商家などが並び、1996年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。NIPPONIAは、各地に点在して残されている古民家を、その歴史性を尊重しながらリノベーションし、土地の文化や歴史を実感できる施設として同社が再生していく組みで、15年秋に開業した「篠山城下町ホテルNIPPONIA」（兵庫県篠山市）に続く2施設目となる。

## TREND EYES 佐原商家町ホテル NIPPONIA

歴史的街並みをホテルとして再生  
古民家での特別な滞在の提供へ